

第1号議案

平成26年度事業報告（総括）

特徴あるシニアの2年制大学校として平成25年4月に開講して丸2年が経過し平成27年3月4日初めての卒業式を迎えることができたのは感無量であった。

平成26年4月8日2期生236名の入学式と1期生255名の始業式で始まった26年度であったが同じ5教科、6教室での募集に対し2期生では「健康づくりと福祉を学ぶ科」と「野菜づくりを楽しむ科」が定員に満たない状態での開講となり採算的にも始めから苦しいスタートとなった。

第2期生の応募状況からの反省を踏まえて、第3期生の募集に当たっては26年度に入る前の3月から募集委員会を立ち上げその対応に当たることとした。

◇その結果3期生の募集開始を10月からに繰り上げ、応募開始を募集説明会が終わると同時に12月7日設定、各部門と連携し精力的に募集活動を進めた。

第3期生講座の基本構想を次の通り決定

- ①当コミュニティカレッジの支柱となる「地域福祉」を特別政策講座と位置づけ受講料を減額しての開講。
- ②新たに1年制の学科も導入して新規学科（歴史ロマン、カメラ、アウトドア、音楽）4教室を含め「9学科9教室」に拡充
- ③教室の開設は1期生ならびに2期生との地域バランスを考慮のうえ、豊中に4学科設置。
- ④大阪府を始め関係市町ならびに各社協、高大同窓会、SA地区会への後援と広報誌掲載依頼、募集要項配布のお願い。
- ⑤地元大学（梅花女子大学、追手門学院大学）の後援名義と提携講座を引き続き依頼。

なお、27年4月開講予定の立命館大学への提携講座の依頼も行う

◇一方教務部においては2学科（健康づくりと福祉を学ぶ科、野菜づくりを楽しむ科）が定員未達のため教室運営の円滑化と共に講座運営のコストダウンを目指し取り組むと同時にクラス教務2人体制による講座運営を進め、人的費用的にコストダウンを図るべくスタートした。しかし途中での辞任等の為学科教務も加わり、3人体制の学科もあり人的費用的にも問題を残した。なお、27年度講座運営に対してはクラス教務勉強会を重ねて開催し講座運営がスムーズにいくよう努力した。

また、当カレッジの政策講座として受講料を減額して募集した「地域福祉を学ぶ科」は高齢者の介護問題から健康講座や地域福祉、子育て、障がい者、まちづくり、環境と幅広い分野でのカリキュラム内容を理解されて応募者が定員を大幅に超過した

ただ、3年目を迎えるにあたって、2期生の1年終了時点での退学者が予想以上に多かったことは、運営上の問題もさることながら3期生以降の講座のあり方についての検討課題となった。

26年11月に行った「ONCCふれあい交流祭」は受講生主体による実行委員会にて運営された。

初めての実施のため紆余曲折はあったが、受講生にとって貴重な経験となり、特に卒業生には良い思い出となったことと思う。

◇事務局としては当初から定員に満たない学科が2学科あったため厳しい財政面のスタートであっ

たが、結果として借入金の返済も果たし、いくらかの剰余金を計上することが出来たことは役員
の経費節減への努力もあるが幸いであった。

また、北摂西地区の強化と豊中市との連携強化のため昨秋に豊中事務所を開設した。すでに、教
務関連事務所、クラス教務の作業、書類保管場所として十二分に活用されている。なお、茨木
連絡事務所も当初の2倍以上の経理部門ならびに総括事務部門の事務処理にて北摂東地区のクラ
ス教務の作業場所としての役割が充分果しえない状態であったため、JR 駅近くの大福ビル（駅
前4丁目）に移転することを決めた。西地区同様に、東地区教務の活動の活発化と事務局の作業
の合理化に繋がることを期待している。

◇冒頭にも述べたように今年度は、1カ月早めて10月から募集活動を開始し、10月2日には配布
作業を終え、各市町ならびに高大同窓会、SA地区会等に配布、PRを依頼。また、講座数の増え
た北摂西地区を重点に、新聞広告・記事、チラシ折り込み、ポスティング等によりPRを展開。
10月から11月初旬にかけて市政だよりや広報誌に掲載願い、これに合わせるように11月27日
2年を迎えての「講演と邦楽のつどい」を開催、続いて翌28日から第3期生募集のための講座
説明会を千里中央「コラボ」において“体験コーナー、展示コーナー”とともに開催したのを皮
切りに茨木市、吹田市、豊中市、箕面市、高槻市の順で開催。

◇講座説明会の終了後12月7日募集受付開始の応募書類到着分335名の内「歴史のロマンと謎に
迫る科」が2倍近くの応募があり即日抽選を実施したが歴史ロマンだけで全応募の32%を占め
る結果となった。なお、「野菜と草花づくりを楽しむ科」「自然とものづくりを愉しむ科」「音
楽を楽しく学ぶ科」の応募が伸びず、「野菜科」は公開講座に切り替え、「ものづくり科」は1年
制に変更、「音楽科」はカリキュラムを幅広く見直し開講とした。

◇事業部事業では前年度から開催している歴史講座「聞いて楽しい源氏物語」のシリーズ(2)シ
リーズ(3)を計12回開催。また、10月からは6回にわたり「古代日本の争乱を考える(事件
の虚実にも迫る)」を計6回開催しどちらも定員オーバーの盛況を博した。そのほか「押し花教室」
「和服リメイク教室」をいずれも10回シリーズで開催。

11月12日には「ONCCふれあい交流祭」において模擬店を担当。同じく27日には2年を迎え
て「講演と邦楽のつどい」を開催。また、最後27年2月に大阪府福祉基金助成事業として「障
がい者移動のための車いす介助養成講座」を参加者27名にて4日間にわたり開催した。

◇広報部活動としてはまずは「ホームページ」の運用と拡充を図り、各学科の学習活動の紹介、事
業の案内、実施報告の掲載を行う。また、「ONCCの概要」の改訂版の作成、第3期生募集の広報
資料の作成。募集要項、学科別カリキュラム冊子の作成。なお、「ONCC NEWS No.3」は教務部にお
いて編集発行した。

◇例年新生の受け入れ体制については教室の確保に苦慮するところであるが、27年度の教室問
題は豊中市のご協力ならびに関西アーバン銀行豊中支店のご厚意により、教室提供を受けること
が出来豊中地区での体制が整ったのは大きい。

◇最後に2年制のため、はじめての卒業生を送り出すことになったが一部クラス教務として協力頂
くにとどまったことは非常に残念で今後は多くの人材を迎え入れ将来に備えたいと思う。